

中小企業いばらき

【クローズアップ】

2019年茨城県内の経済動向と展望



写真 「大洗海岸の日の出」と「神磯の鳥居」（大作成一氏提供）

CONTENTS

年頭あいさつ	2
クローズアップ	6
ニュースフラッシュ	10
インフォメーション	13
組合等トップ新春に想う	14
経済・労働リサーチ	25
業況レポート	26
中央会だより	40

発行所・編集発行人

 茨城県中小企業団体中央会

<http://www.ibarakiken.or.jp/>

〒310-0801 水戸市桜川2-2-35 電話029-224-8030（代）

JOYO CARD *Plus*

法人クレジットカード

法人
クレジットカードの
イトコロ

領収書の整理や
振込手続きなどの
経理処理が軽減

支払いが
一本化され
管理が容易に!!

ETCカードは
何枚発行しても
手数料無料!!

お問い合わせは

常陽 クイック
ビジネスセンター



0120-310-863

【受付時間】平日9:00~17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)



常陽銀行



表紙の紹介

「大洗海岸の日の出」と「神磯の鳥居」

東茨城郡大洗町

大洗海岸の日の出

茨城県の海岸は太平洋に面しほぼ南北方向に伸び、延長約190kmの単調な形状をしています。

本県の沿岸域は自然環境が比較的良好に維持されており、その様相はほぼ中央に位置する大洗を境に、北部域（旧常磐沿岸）と南部域（旧鹿島灘沿岸）に大きく二分されます。

ほぼ中央に位置する大洗海岸は、那珂川の河口から大洗岬までの約3kmにわたって続く海岸で、レキ岩が岩礁状に露出している間に砂浜があります。

日本の渚百選・日本の白砂青松百選に選定されており、海岸が真東を向いているため、どの位置からでも美しい日の出が見られることで有名です。特に、海上の岩の上に立つ大洗磯前神社の鳥居のひとつ「神磯の鳥居」は日の出を見る景勝地として知られ、初日の出のスポットとして多くの人が訪れます。

(茨城県のホームページなどから)

神磯の鳥居（かみいそのとりい）

神が降り立った地・神磯に立つ鳥居は、海岸沿いの高台にある大洗磯前神社の鳥居の一つです。鳥居が朝日に照らされ、太平洋の荒波が岩礁に当たり白く砕ける瞬間は、まさに神々しい光景と言えます。

なお、徳川光圀公が当神社を参拝した折に、この景

観を称えて

「あらいその岩にくだけて散る月を
一つになしてかへる月かな」

と詠まれています。

(大洗観光協会と大洗磯前神社のホームページなどから)

日本の渚百選

「海の日」が国民の休日として制定されたことを記念して、「海」の持つ重要な役割を再認識するとともに、海の恵みに感謝し、海を大切にすることを目的として運輸省（現・国土交通省）、環境庁（現・環境省）、建設省（現・国土交通省）、自治省（現・総務省）、農林水産省の後援を受けて、日本の渚百選中央委員会が1996年に制定。県内では、大洗海岸のほか、五浦海岸（北茨城市）、高戸小浜海岸（高萩市）が選ばれている。

日本の白砂青松百選

社団法人「日本の松の緑を守る会」が1987年に選定した日本国内の景勝地。美しい松原のある海岸風景を、日本各地から100箇所選定。県内では、大洗海岸のほか、五浦海岸（北茨城市）、鵜の岬海岸（日立市）、村松海岸（那珂郡東海村）が選ばれている。

謹賀新年

新しい年を迎え
皆様のご健勝とご多幸を
お祈り申し上げます。
本年もよろしくお願い申し上げます。

平成三十一年 元旦



会長
副会長

〃 〃

専務理事

理事

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

理事

富山一郎
富山洋子

生井邦彦

長谷川大紋

廣瀬淳一

舟木健生

堀江知弘

松本隆史

松本安利

宮崎一雄

宮本洋治

面澤義昌

森永俊幸

吉岡昭文

荒井隆一

溝口恵子

阿久津和次

安達次雄

熊坂真人

須田正博

田中秀

新名勝彦

監事

〃 〃 〃 〃

事務局長

ほか職員一同（順不同）



年頭のごあいさつ

茨城県中小企業団体中央会

会 長 渡 邊 武

新年あけましておめでとうございます。

平成31年の年頭にあたり、会員並びに関係者の皆さまに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を顧みますと、我が国の経済は、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調が続きました。しかし、幅広く景気回復を実感するには至ってあらず、県内の中小企業・小規模事業者の多くは、人手不足の深刻化や働き方改革への対応などによる労務コストの上昇、原材料費の値上がりなどで収益改善が進まず、依然として厳しい状況が続いています。

先行きについては、米国と中国をはじめとする通商問題が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性に加え、本年10月から予定されている消費税率の引上げによる国内景気の後退が危惧されています。

このような状況の中で、地域の経済と雇用を支える中小企業・小規模事業者は、経営基盤を強化し持続的な成長に向けた取り組みが求められています。そのためには、個々の事業者の努力が何よりも大切ですが、個々の企業努力では解決困難な問題については、中小企業組合をはじめとする連携組織の機能を最大限に活用して、解決を図っていくことが極めて有効です。

本会といたしましては、本年も中小企業組合等連携組織の専門支援機関として、連携組織化の推進をはじめ連携組織の拡充強化に努めてまいります。また、早急な取り組みが求められている事業承継対策、生産性向上、人材の育成・確保をはじめとする諸問題につきまして支援を強化し、中小企業・小規模事業者の持続的な成長と本県経済の発展に寄与してまいります。

新たな年を迎え、決意を新たに「信頼される中央会」をスローガンに総力を挙げて支援活動に取り組んでまいりますので、皆さまの一層のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

本年が皆さまにとりまして、大いなる飛躍の年となりますことを心からご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

平成31年 元旦



年頭のごあいさつ

茨城県知事

大井川 和 彦

新年あけましておめでとうございます。

新年の始まりにあたり、少子高齢化や第4次産業革命、グローバル化など、日本を取り巻く環境が激変する中で、まさに今、本県は将来を決める大きな歴史の転換点にいるとの思いを強くしています。

厳しい競争に打ち勝ち、生き残り、将来に向かって本県をさらに飛躍させるため、昨年末策定した県総合計画の基本理念である「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け、果敢に挑戦してまいります。

未来に希望の持てる「新しい茨城」の実現には、本県が日本だけでなく、世界からも注目される、ワクワクするような期待感のある県となることが重要です。

戦略的な企業誘致による質の高い雇用の確保や儲かる農業の実現、国内外からの観光誘客、さらには宇宙ビジネスの振興など、新たな取組にも力を注ぎ、若者が集まる、夢や希望に溢れる県をつくってまいります。

また、医師確保をはじめとした県民の命を守る医療・福祉の充実や人生百年時代を見据えた健康づくり、災害に強い県土づくりなど、県民生活の基本となる安心安全な生活基盤を一層充実してまいります。

あわせて、これからの茨城を創る大切な子どもたちが、得意なものをさらに伸ばし、グローバル社会で活躍できるような教育環境の整備に努めるとともに、日本一子どもを産み育てやすい県を目指してまいります。

この挑戦には、行政だけでなく、本県に関わる全ての皆様と県政の方向性を共有し、それぞれが「自分のこと」として考え、行動していただくことも必要です。

本年は、茨城国体・全国障害者スポーツ大会やG20貿易・デジタル経済大臣会合など、国内外に本県の魅力を発信する機会が控えております。

これらも契機にしながら、県民の皆様と一丸となって着実に歩みを進め、活力ある新しい茨城づくりに「猛進」してまいりたいと考えておりますので、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

皆様にとりまして、本年が実り多き素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。



年頭に当たって

全国中小企業団体中央会

会 長 大 村 功 作

明けましておめでとうございます。平成31年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
本年は平成の最後の年、そして新たな元号の幕開けの年となります。平成を締め括り、改元となる新年を迎え、大変身の引き締まる思いであります。

昨年は、都道府県中央会とともに「つながる ひろげる 連携の架け橋」のスローガンの下、「平成30年度中央会の基本活動方針」に基づき、次のように①から⑤の5つの重点活動に取り組みました。本年は、数値目標を含めその成果を取りまとめ、見直すべき点は見直し、改善を図っていきます。①「組合の今日的意義の確認・発信」は、新たに森下正 明治大学教授を委員長とする「中小企業組合のあり方研究会」を設置し、組合の新たな方向性・可能性を提示しながら、中央会による組合支援のあり方を検討してきました。本年は、先行事例を豊富に盛り込み中央会の伴走型支援に役立つ手引きとしても活用できる報告書に取りまとめます。②「事業承継の推進」は、組合員の廃業・脱退に歯止めをかけるべく組合を起点とした取組みを進めてきましたが、本年は、会社に加えて個人事業者の事業承継も推進していきます。③「働き方改革への対応」は、ものづくり分野でのレディース中央会の誕生など女性の活躍が各地で見られました。本年は、同一労働同一賃金に関するガイドラインや対応のための取組手順書などの周知・広報を図っていきます。④「生産性向上の実現」は、ものづくり補助金を中心に設備投資を支援してきました。本年も引き続き税制措置を組み合わせたIT・設備投資の推進を行っていきます。⑤「被災地支援、地方創生」については、昨年発生した西日本豪雨、台風19～21号、北海道胆振東部地震の被災中小企業への対策支援を政府に要望してきましたが、自然災害については事前の対策が極めて重要であると考え、本年は、自家発電機等の災害関連設備の減税措置や、実効を図るためのBCP認定制度や損害保険の推進を図ってまいります。

本年10月には、消費税の税率引上げと複数税率の導入が行われます。消費税率引上げ後の反動減対策は、特に組合組織を上げての対策が極めて重要です。政府には万全の対策を求めています。経営資源に乏しい中小企業・小規模事業者が頼るのは組合です。

また、本年は、ラグビーワールドカップが開催され、来年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。世界に日本の中小企業の魅力を発信する絶好の機会であります。

組合関係者にとりまして、本年が実り多き良き1年となりますことを心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成31年元旦



年頭のごあいさつ

商工組合中央金庫水戸支店

支店長 鈴木 巖 道

平成31年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

昨年のが国経済を振り返りますと、中小企業の景況感は持ち直しの動きがみられますが、人手不足を感じる中小企業は多く、今後も労働需給の逼迫による人件費負担の増加等が懸念されます。また、人口減少時代の本格到来やグローバル化の一層の進展が見込まれ、中小企業の経営ニーズは、一層高度化・多様化することが考えられております。

このような中、私ども商工中金は、昨年5月22日に主務省に提出しました「ビジネスモデル等に係る業務の改善計画」の実行計画として、中期経営計画「商工中金経営改革プログラム」を策定し、同10月18日、中小企業専門金融機関として景気変動に左右されない金融スタンス、中小企業組合等を通じた面的な支援機能、国内外のネットワーク、短期資金を含めた幅広い金融機能、中立性を活かしたコーディネーター機能など、当金庫ならではの特性を活かした「経営支援総合金融サービス事業」を展開していくことを公表いたしました。

具体的には、危機対応業務等の不正事案に繋がった当金庫本位の業務運営から脱却し、真にお客さま本位の取り組みが徹底されるよう意識改革を行うとともに、経営改善、事業再生や事業承継等を必要としている中小企業の皆さまや、リスクの高い事業に乗り出そうとしているものの課題に直面している中小企業の皆さまに対して、課題解決に繋がる付加価値の高いサービスの提供に重点的に取り組んでまいります。

また、こうしたビジネスモデルを実現するために、当金庫の業務・組織・人事制度を抜本的に改革し、経営・業務の徹底した高度化・効率化を実行するとともに、取締役会等の機能強化など、ガバナンス態勢の強化を図ってまいります。

「中小企業による、中小企業のための金融機関」として、再び皆さまから信頼され、お役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、茨城県中小企業団体中央会並びに会員の皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。



2019年 茨城県内の経済動向と展望

日本銀行水戸事務所長 吉田 豊



明けましておめでとうございます。

平成最後となる新年が明けましたが、皆様良いお年をお迎えのことと存じます。今年の干支は「亥」。「猪突猛進」（ちょとつもうしん）という熟語があるように、イノシシには勢いよく突き進んでいくイメージがあります。もっとも、この熟語には、「後先を考えずに」とか「周りを顧みず」という意味合いが込められているので、決して褒め言葉ではないようですが、物ごとが煮詰まった場面では突破口が得

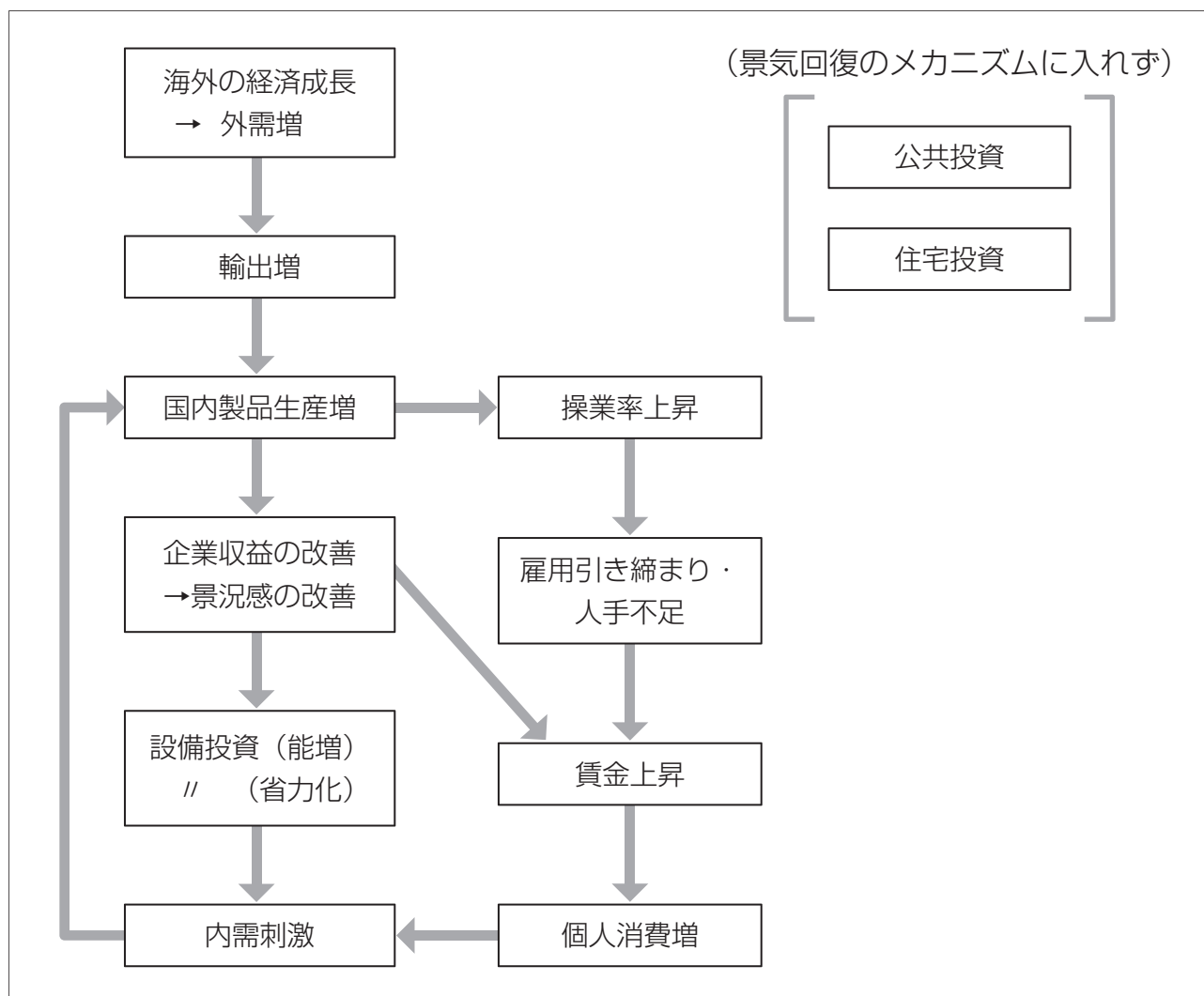
られそうな、そんな勢いも感じます。

さて、本欄では、県内の経済動向に関しまして、まず2018年の動向を振り返り、次に2019年の展望や想定されるリスク要因、最後に当面の課題について述べたいと思います。

1. 2018年を振り返って

私どもでは、毎月「茨城県金融経済概況」を公表し、県内経済の総括判断を行っています。2018年

(図) ▽ 景気回復のメカニズム





中の総括判断は、一貫して「緩やかに回復している」としました。この判断自体は2017年10月から行っていますので、1年以上継続しています。さらに、この判断の前は「緩やかに回復しつつある」としており、期間としては3年半以上続いていました。したがって、県内経済は、4年半以上にわたり息の長い回復基調にあることがわかります。

それでは、どのようなメカニズムで緩やかな景気回復が実現してきたのかを考えてみましょう。(図)景気回復のメカニズムをご覧ください。

まず、今回の景気回復の起点は、海外の経済成長です。

国際機関であるIMF（国際通貨基金）の推計によると、世界経済は、2018年は3.7%の経済成長率でした。日本は1%程度、欧米諸国は2～3%程度の経済成長でしたが、新興国、なかでも中国が6%程度、インドが7%程度と高い経済成長を実現し、世界経済をけん引した形になっています。

海外経済が成長し、外需が増えることにより、日本からの輸出が増加します。県内では、主に新興国に向けた鉄鋼や建設機械、鉱山用機械と、生産用機械に組み込まれる部品などの品目を中心に、輸出が増加しました。

輸出が増加すると、海外からの受注に応えるために鉱工業の生産が増えます。2018年中の県内の鉱工業生産指数（2010年＝100）の推移をみると、1月は107.7でスタートした後、5月に商品の在庫調整や生産設備の補修点検の影響等からいったん100.2まで減少しましたが、それ以降は毎月上昇して10月には113.1まで増加しています。

生産活動が活発になると、製品販売が増えることで企業の売上げが増え、景況感が改善します。私どもが昨年12月に公表した短期企業経済観測調査（短観）によると、県内企業（調査先149社、以下同）の2018年度売上高は前年比＋2.2%増となる見込みであるほか、業況が「良い」と回答した先の割合から「悪い」と回答した先の割合を差し引いて算出する業況判断DIは＋12と、好調な景況感を現しています。

企業収益や景況感が改善すると、企業は生産能力の増強や効率化を目指して、設備投資意欲が高まります。先の短観調査によれば、県内企業の2018年度の設備投資額は前年比＋26.3%増と、旺盛な設備投資意欲を示しています。

設備投資意欲が高まると、新たに購入する機械設備や土地建物の需要が高まりますので、内需が刺激されて企業間の取引が増えることとなります。それが新たな生産増につながり、そこからは同様のサイクルで景気回復が進んでいくことになります。

また、2018年は人手不足が深刻化した年でもありました。(図)に再び目を転じていただくと、製品の生産が増加すると、生産量を増やすべく操業率が上昇します。忙しくなった分の人手を確保しようとするため、求人が高まります。県内の有効求人倍率をみると、1月に1.56倍からスタートし、9月には1.64倍まで上昇しました。これは、1992年3月の1.70倍以来、26年ぶりの高い水準でした。このように、雇用は引き締まった状況が続いています。雇用が引き締まると、よりよい条件で人手を確保しようとするため、賃金は上昇する傾向にあります。

賃金が増えれば所得が増え、家計において「財布のひも」が緩み、物やサービスを購入する機運が高まって、個人消費が活発になります。県内でも百貨店・スーパーなどの小売店で身の回り品や雑貨類の売り上げが好調であったほか、自動車も新型モデル投入効果もあって新車登録台数は年後半にかけて順調に推移しました。家電製品では、夏場の猛暑を反映してエアコンが良く売れたほか、洗濯機・冷蔵庫といった白物家電の買い替え需要がみられるなど、年間を通じて底堅く推移しました。

個人消費が活発になると、内需が刺激され、それが製品生産の増加につながって、景気回復の良い循環に入っていきます。

以上が、県内における息の長い景気回復のメカニズムと考えられます。全体の経済成長率が年間で1%程度ですので、安定成長下で経済成長の恩恵を

公共セクション、企業、家計とで分け合うと、日々の生活では景気が良くなっているという実感が得づらいかもしれません。

一方、公共投資、住宅投資については、2018年中は力強さを欠き、景気回復に一役買うまでには至りませんでした。

まず、県内の公共投資は、公共工事の請負金額が総じて前年を下回って推移しました。これまで公共投資を底上げしてきた震災の復興事業や圏央道建設関係の工事が一巡したほか、本年開催される国体関連についても、競技施設の多くが既存施設を利用する方針のもとで、公共投資全体を大きく引き上げるには至りませんでした。

また、住宅投資は、これまで順調であった賃貸物件の増勢が一服し、新設住宅着工戸数の推移をみても前年の水準を超える展開には至りませんでした。本年10月には消費税の引き上げが予定されていますが、2018年中はいわゆる駆け込み需要は本格的には見られませんでした。

2. 2019年の展望

国際機関の経済予測によると、2019年の海外経済は、ほぼ2018年並み、3%台半ば程度の経済成長を続けると見込まれています。

そうしたもとで、日本や茨城県の経済については、基本的には2018年と同様のメカニズム、すなわち、外需と輸出を起点として生産の堅調さが維持され、企業の設備投資や個人消費に波及するサイクルが維持できれば、緩やかな回復基調を継続していくものと思われます。

また、本年は国事行事やイベントが盛りだくさんです。

まず、5月に天皇陛下の即位、10月に即位礼正殿の儀と皇室にかかる国事行事があり、その時期国内には祝賀ムードが広がると思われます。国事行事に伴い、本年限りの祝日も制定され、春のゴールデンウィークは大型連休にもなりますので、旅行等レジャー関連の需要も出てくると思います。

7月には東京オリンピック・パラリンピックの開

催1年前となり、準備も大詰めを迎えるとともに、大会への関心の高まりや各種イベントの盛り上がりも期待されます。

さらに、県内では、9月から10月にかけて「いきいき茨城ゆめ国体」、「いきいき茨城ゆめ大会」が開催され、全国から選手団と観客を迎えることとなります。このようなイベントが盛り上がることで、県経済の成長にもプラスに寄与するものと思われます。

このように考えますと、2019年中も基本的には緩やかな回復基調を継続すると想定されますが、以下のようなリスク要因については留意する必要があります。

①海外の政治・経済状況

米国の経済政策や政治スタンスによっては、日本の経済も影響を受ける可能性があります。なかでも、米国と中国の貿易摩擦問題は解決に向けた方向感が見えず、各方面に波及して混沌とした状況にあります。米中両国に輸出する日本製品へ高い関税が課されるなど直接的な影響に加え、米中間の貿易減少に伴う受注減少など、日本企業へ影響が及ぶようなことに至らないか、注視していく必要があります。県内企業でも、米国や中国へ製品を輸出している企業だけではなく、米中貿易に直接かかわらない企業においても、何らかの形で影響を受けるのではないかと、という漠然とした不安感を抱く先が少なくありません。

また、昨年末にかけて、米国の金利上昇や中国の成長鈍化等が嫌気され、株式市場では不安定な値動きとなりました。海外発の要因による金融市場への影響にも、留意していく必要があります。

②消費税引き上げの影響

本年10月には消費税率が現行の8%から10%に引き上げられます。過去においては、消費税引き上げ前後で、引き上げ前の駆け込み需要と引き上げ後の需要減退が繰り返され、反動減から消費低迷に至ることが繰り返されてきました。前回2014年の引き上げ時と比較すると、今回は、消費税率の上げ幅がプラス2%ポイントと、前回(プラス3%ポイント)に比べ1%ポイント分小さい

ことや、軽減税率などの各種制度対応により、消費税引き上げの影響が大きくならないよう、政府も施策を打ち出していますので、家計に対する影響は少ないものとなるのではないかと見ています。日本銀行の試算によると、前回2014年の消費税引き上げでは全国の家計負担増加が8.0兆円であったのに対し、今回は軽減税率や教育無償化の施策により2.2兆円と前回比3割弱程度にとどまるとの試算もあります（2018年4月28日公表「経済・物価の展望」Box1）。過度に恐れるには至らない、と言いたいところですが、消費税の前後で実際に消費者がどのように行動するかは、ふたを開けてみなければわからない面もあります。10月1日を挟んだ前後の消費動向とその影響については、やはり注視しておく必要があります。

3. 当面の課題

最後に、企業活動を進めていくうえでの当面の課題について、二つの点について私見を述べたいと思います。

①働き手をどう確保するか

昨年、企業の方とお話する中で、業種や企業規模の大小を問わず、人手不足と採用難の話をよくお聞きしました。

人員が確保できず、現有の人員で増産対応を図るとすれば、生産性の向上や付加価値の増加を目指した設備の導入や効率化の推進、生産・事務フローの見直しなどを進める必要があります。近年発展が著しいIT技術やAI（人工知能）化の流れに乗って、専門家に相談しながら活用を進めてみることも、有効かもしれません。

大手企業が県内に進出してきて高い賃金を提示され、これまで育ててきた従業員が引き抜かれる、という悲哀（恨み節？）も伺いました。大手企業相手に賃金面での対抗に限界があるとすれば、魅力ある仕事や職場環境の充実など、従業員の目線から見たやりがいや働きやすさの向上を目指した取り組みも、一考の余地があるかも知れません。

また、企業の方から採用難のお話を伺っていま

すと、多くの場合「週5日、フルタイムで働けて、繁忙時には残業もいとわない」人を求めているようにうかがえます。基本はその通りなのですが、そうした人材が思うように集まらないのだとすれば、「勤務に何らかの制約がある人たちを採用して戦力化する」ということも考えていく必要があるのではないのでしょうか。

子育て中のお母さんや家族を介護している壮年層は「勤務時間に制約がある」人たちですし、体力の衰えた高年層は「力仕事などの仕事内容に制約がある」人たちです。心身に何らかのハンディキャップを持っている人たちは「勤務時間ないし仕事内容に制約のある」人たち（いわゆる「障がい者雇用」）ですし、外国人は「言葉によるコミュニケーション等に制約がある」人たちといえます。人間誰しも、人生のある期間において多少の勤務制約が生じることはあるものだと思います。「勤務に何らかの制約がある人たち」の有効活用が、人手不足と採用難問題の解決に向けた糸口になればよいと思います。

②働くうえでの使命感や意識に緩みはないか

2018年を振り返りますと、多くの企業経営者が会見で頭を下げる場面を目にしました。

これまで日本の製造業の看板であったはずの品質管理が実は長年にわたりごまかされていたり、旅客機のパイロットが酒気帯びの状態で乗務しようとするなど、職務の使命感や意識に緩みがあったのではないのでしょうか。長年かけて築いてきた日本企業のブランドイメージを傷つけることとなり、残念な出来事でした。

新年にあたり、また、5月には新たな元号がスタートする節目の年にあたり、こうした残念な事例を「他山の石」として、わが社わが身を省みる機会とされるのはいかがでしょうか。世間の皆様には頭を下げてお詫びするようなことは、ぜひ避けたいものです。

新年早々、お堅い経済記事に最後までお付き合いいただいた読者の皆様、ありがとうございました。本年が皆様にとって良い1年となりますよう、心からお祈りしております。

「災害時対応研修会と実地訓練」を開く

● 茨城県石油商業組合

県石油商業組合（宇田川仁一郎理事長）の「災害時対応研修会と実地訓練」が水戸市内で組合員ら40人が参加して開かれた。緊急時対応能力の強化を図るとともに、行政や関連団体などとの連絡調整と事業者間連携を見直すことが狙い。

研修会では、「南海トラフ地震」や「首都直下型地震」の影響想定、SNSなどを活用した安否確認システムの構築などに関する説明のほか、災害時シミュレーション訓練が行われた。

実地訓練は、震度6強の直下型地震が発生し、停電でガソリン供給ができなくなった状況を想定。一般客が給油する営業時間中に行われ、連絡体制とSSに整備された緊急用発電機を使用する給油手順を確認した。宇田川俊明事業担当委員長は「日頃から有事に備え、地域住民生活の安心安全に努めたい」と力を込めた。

同組合の組合員らでつくる県石油業協同組合は県や水戸市などと「災害時支援協力に関する協定」を結び、大規模災害発生時に組合加盟の指定された給油所が緊急車両と避難所や病院など重要施設へ優先的に燃料を供給するなど、災害時対応を支える体制整備に努めている。



災害時対応実地訓練の様子

建設業協同組合などを対象として 事業承継セミナーを開く

● 中央会

中央会は水戸市内で「事業承継セミナー」を開き、県内の建設関連企業の経営者ら60人が参加した。県建設業協会（石津健光会長）、県建設業協同組合（石津健光理事長）との共催。

中小企業基盤整備機構の大西雄太氏が事業承継の現状と課題、2017年度・18年度の事業承継関連施策について講演した。

国は、経営者の高齢化や後継者不足による廃業を

防ぐため、都道府県と協調して、中小企業支援機関や金融機関、士業団体などを構成員とする事業承継ネットワークを構築。よろず支援拠点や事業引継ぎ支援センターなどの公的機関と連携し、事業承継診断や専門家派遣の実施など、中小企業の事業承継支援を強力に推進している。

大西氏は、事業承継に関する課題や承継が遅れた場合のデメリット、事業承継税制などについて解説。本年度改正された事業承継税制について、「5年以内の特例承継計画の提出と、10年以内の贈与、相続又は遺贈の実施が必須であるため、計画的な承継に努めて欲しい」と呼び掛けた。



講演する大西氏

ストーンフェスティバルで 御影石の魅力を発信

● 茨城県石材業協同組合連合会

県石材業協同組合連合会（長谷川正一会長）の石の祭典「いばらきストーンフェスティバル」が笠間市内で開かれた。

同フェスティバルは、笠間市（稲田）や桜川市（真壁・羽黒）で多く産出される「稲田石」「真壁石」「羽黒青糠目石」などの御影石の魅力を広く発信し、石材製品の販路拡大や産地の活性化を図ることが目的。今回で21回目を迎えた。

石材製品の展示販売のほか、稲田みかげ採石場などをめぐる石山見学ツアー、ミニ灯ろう作りやピンコロ彫刻体験、石割り・石積みなどが行われ、参加者は長年培われてきた技術や石造りの精神を体感した。



ストーンフェスティバルの会場内



日運協

日運茨城事業協同組合

理事長 小室 光 博



お任せ下さい
安全・確実・迅速
輸送

〒319-1102 茨城県那珂郡東海村石神内宿 1945-1

電話 029-282-7121(代)

FAX 029-282-7119

E-mail nitunky@mito.ne.jp

URL http://www.mito.ne.jp/~nitunky/



エコアクション21

エコアクション21勉強会費用「0円」!!

4回の集合勉強会で、仕組みの構築と運用を行い、認証登録に向け協働作業を行います。

ISO14001:2015年版への対応は!!

2015年版の理解とシステム再構築の集合勉強会(2社以上から)の開催(有料)

■環境経営システム導入のメリット

- ☒ 顧客、取引先のニーズに応えます。
- ☒ CO₂、化石燃料、廃棄物の各削減等により環境対策と経費削減が実現します。
- ☒ 方針、コンプライアンス、目標管理、従業員教育、手順化・標準化、緊急事態への対応、是正処置、経営層による見直し等のPDCAを展開することにより、事業全般に良い影響をもたらします。

■自治体、各種団体、各種士業皆様 連携して普及活動を行いませんか。ご一報ください。

茨城県のエコアクション21/ISO14001審査、コンサルのプロ集団

特定非営利活動法人 環境NPOいばらき

連絡先/TEL:090-7190-5131/0297-45-0864

FAX:0297-45-0864 Email:hishii@plum.plala.or.jp

ホームページ/環境NPOいばらき ☒ クリック 担当:石井晴光



アクモス 株式会社

茨城県限定

法人・団体様向け 情報セキュリティ無料相談



◇情報セキュリティに関するご相談事例

ホームページの公開や閲覧に関する対策

メール利用に関する対策(標的型攻撃等含む)

社内ネットワーク出入口での対策

外部からの社内システム利用時の対策

クラウド利用時の対策



茨城県内地域の法人・団体を対象に

情報セキュリティ無料相談を実施させていただきます。



◇ご相談はメールにて受付けております。お気軽にご相談下さい!

security-advisor@acmos.jp

※以下の内容を記載願います

社名・団体名、お名前、電話番号、ご相談/お問い合わせ内容

◇注意事項 下記のようなご相談は承っておりません

契約に関する相談、法的な相談、個別の端末調査、犯罪捜査に関する相談、パソコンの具体的な操作方法等の相談、その他、対応できないご相談については、その旨、お伝えさせていただきます。

森づくり・人づくり

林業の活性化を通じて地域に貢献



美和木材協同組合

〒319-2603 茨城県常陸大宮市鷺子46-1

電話 0295-58-2899 FAX 0295-58-2043

URL <http://www.miwamoku.net> E-mail info@miwamoku.net

車検・定期点検 は国の認証を受けた てんけんくんマークの整備工場へ!!



この看板
が目印です!



茨城県自動車整備商工組合 一般 茨城県自動車整備振興会 社団法人

〒310-0844 茨城県水戸市住吉町 292-5

TEL 029-247-4330 FAX 029-247-7667

URL: <http://www.seibi.or.jp>

E-mail: ibaraki@seibi.or.jp

「茨城県プロフェッショナル人材戦略拠点セミナー」のご案内

茨城県プロフェッショナル人材戦略拠点

当拠点は、茨城県内の中堅・中小企業の立場に立ち、新たな取り組みに積極的に挑む「攻めの経営」への意欲を喚起し、企業の成長戦略を具現化するプロフェッショナル人材の採用を支援するため、金融機関、産業支援機関、民間の人材ビジネス事業者等が連携して、企業と人材のマッチングのお手伝いをしています。

このたび、次のとおり、セミナーを開催いたします。

◆開催日時

平成31年2月5日（火）午後1時30分～

◆会場

「ホテルグランド東雲」（つくば市小野崎488-1）

◆定員

100名（先着順）

◆対象

茨城県内企業

◆内容

〈第1部〉

茨城県プロフェッショナル人材戦略拠点について

①事業紹介

②活用事例紹介

発表企業（株）諸岡

テーマ「活力ある企業を目指して」

〈第2部〉

基調講演

演題 日本一社員が幸せな会社とは？
～ワーク・ライフ・バランスからライフ・ワーク・バランスへ～

・年間休日140日 ・全員正社員
・「報・連・相」禁止 ・残業ゼロ
・部下への命令禁止 ・ノルマなし
「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞 経済産業大臣賞受賞

講師 未来工業株式会社
代表取締役社長 山田 雅裕氏

◆参加費

無料

◆申込方法

（公財）茨城県中小企業振興公社のホームページ
<http://www.iis-net.or.jp/>の「公社からのお知らせ」よりセミナーのチラシをダウンロードし、必要事項ご記入のうえ、FAXにてお申込みください。

◆問合せ先

（公財）茨城県中小企業振興公社 新事業支援課
〒310-0801 水戸市桜川2-2-35
茨城県産業会館9階
電話029-224-5339 FAX029-227-2586

「茨城スマートものづくり応援ツール展示及びIoT導入事例報告会」のお知らせ

茨城県IoT推進ラボ

全国200以上の「スマートものづくり応援ツール」から、イチオシを集めました。（19社出展）IoTをまず小さく始めたいけれど、どんなツールがあるかわからない方、必見です。

—— スマートものづくり応援ツールとは ——

- IoTを推進するロボット革命イニシアティブ協議会が全国から集めた200以上のIoTツールです。
- 今回の展示会は、IoTツールから同協議会が選定した「イチオシツール」を全国から集めています。



◆開催日時

平成31年1月25日（金）午後1時～

◆会場

茨城県産業技術イノベーションセンター・研修交流センター（旧茨城県工業技術センター）
（東茨城郡茨城町長岡3781-1）

◆プログラム

- ①スマートものづくり応援ツール展示
- ②主催者・来賓挨拶・趣旨説明
- ③展示ツール・レシビ・事例紹介
 - ・展示ツール・レシビ紹介（10社）
 - ・県内企業IoT導入事例報告（2社）
 - ・県内企業IoT開発事例紹介（2社）
- ④模擬スマート工場見学

◆参加費

無料

◆参加申込

ひたちなかテクノセンターのホームページ
<http://www.htc.co.jp/>からチラシをダウンロードし、参加申込用紙に必要事項を記載しFAX又はEメール(ootaka@htc.co.jp)にてお申込みください。

◆問合せ先

茨城県IoT推進ラボ事務局（株）ひたちなかテクノセンター
〒312-0005 ひたちなか市新光町38
電話029-264-2200 FAX029-264-2203

2019年 組合等トップ 新春に想う

新春特集として、組合等団体の代表者の皆さまから新年の決意や抱負など、年頭所感についてご寄稿をいただきました。

(敬称略、順不同)



茨城県信用組合
理事長

渡 邊 武

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

さて、日銀の発表では「県内景気は緩やかに回復している」とありますが、地域経済を支える中小企業や小規模事業者の多くは、人手不足や人件費の上昇などが足かせとなり、厳しい状況が続いています。このような中、茨城県信用組合は、地域経済の活性化や雇用の安定を図るため、外部機関や外部専門家とも連携しながら、中小企業等の売上増加・創業支援・事業承継といった経営課題に対する支援や円滑な資金供給に取り組んでまいり所存でございます。茨城県中小企業団体中央会の会員各位におかれましては、当組合の様々な取り組みに対しまして、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆さまのますますのご発展とご多幸をご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



茨城県電気工事業工業組合
理事長

浅 野 晃 司

新年おめでとうございます。

皆さまにおかれましては、穏やかなお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、本年は新年号になり、皇太子殿下が、天皇陛下にご即位なされます。そして、60年に一度の己亥の年で植物の生命力が種の中に閉じ込められた状態を表わしていると言われ、発芽に備えエネルギーをためる時期で、我々業界においても新風吹く時期の為に新技術の習得に、若手技術者の育成と人材確保に努めてまいりたいと思います。

また、当組合は今年創立70周年を迎えます。70年前、先人達が築きあげたこの組織を、更なる強い絆と団結で組織力を高め邁進してまいり所存です。本年も「猪突猛進」で創立70周年式典実施に向かって、まっしぐらに進み、業界も勢いある年に行きたいと思いますので宜しくお願いいたします。



茨城県管工事業協同組合連合会
会長

石 田 賢 司

明けましておめでとうございます。輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は当連合会への多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を顧みますと地球温暖化は益々進み、超大型台風の連続日本縦断や局地的集中豪雨、更には震度7の北海道地震等自然災害が猛威を振るい各地に甚大な被害をもたらしました。茨城県は今後30年の間に81%強の確率で巨大地震発生と言われています。現在社会的人口減少が進む中、後継者確保の為に技術者・技能者育成に業界挙げて取り組んでいるところでありますが、このような災害時には管工事の本質を見失うことなく組合員一丸となって、持てる技術力を駆使し的確な活動を行い県民のライフラインの一翼を守る所存です。念頭に当たり皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げ新年の挨拶といたします。



茨城県農機具商業協同組合
理事長

川 又 忠 志

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

農業機械の業界では、農家人口は減少し、農地の集約化が急速に進む中であって、農家の二極化が進んでおります。その中で、農業機械のクボタ、ヤンマー等各メーカーとも昨年度は販売額では前年並みの水準だが販売台数は減少しているとのことです。

当組合では農業機械がなければ農業は成り立たない、それを支えるのは我々組合員だとの意気込みで、全力で取り組んでいるところです。そのため、昨年末には、「GAP」の指導員の資格を約3割の組合員が取り農家のGAPのサポートができる体制を整えました。「お客様(農家)が何を考え、思っているかをよく知り迅速に対応・行動する」ことをモットーに組合員一同一年間頑張ります。関係各位のご指導ご協力をお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。



茨城県電機商工組合
理事長

久保田 正 樹

新年明けましておめでとうございます。

我が国は少子高齢化の真只中に突入してまいりました。また本年は消費税率引き上げや外国人労働者参入問題等従来通りの企業運営等では解決不可能な問題が山積しております。世界的な保護主義的政策の台頭での景気不安局面で、中小零細企業の成長可能な道は険しいと思われます。

昨年、当組合は、お陰様で創立60周年を迎えることができました。皆さまのご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

本年も、より一層のご活躍と当組合へのご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



日運茨城事業協同組合
理事長

小 室 光 博

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年の日本経済は、緩やかな回復基調が持続されていると言われているものの、多くの中小企業はその実感を得られない状況にあります。

この状況下、私共自動車運送事業においては、原油価格の高騰に加え、操縦士不足と高齢化により経営環境の厳しさを実感いたしております。

今年も厳しい状況が続くと思われますが、組合員18社が一致団結いたし、相互扶助の精神で新しい時代を迎える為引き続き事業基盤の改革に努めてまいります。そして知恵と勇気を持って、この難局を乗り切ってまいり所存であります。更には安全輸送に努め、より良い暮らしに役立てられるよう頑張っております。

本年も皆さま方から、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

最後に皆さま方のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



茨城県運送事業協同組合
理事長

佐藤 安彦

新年あけましておめでとうございます。昨年中は関係各位、お取引企業の皆さまより格別のお引立てを賜り厚く御礼を申し上げます。本年おかげさまで20年の歴史を刻むことができました。振り返ってみますと常陸那珂港の建設・運営と歩みを共にした年月でした。設立時よりみまると時代は大きく変化し、物流をとりまく環境は止まることなく進歩を遂げております。私共は常陸那珂港を中心に整備されつつある物流機能の高度化に順応しながら地域経済の一翼を担いつつ成長を遂げて行く覚悟でございます。

幸いにして徐々に協同組合員数は増加しており、取扱い量の増加と共に経営基盤は強化されております。本年も昨年に引き続き関係各位のお引立てを賜りますようお願い申し上げ、新年の挨拶いたします。



茨城県商店街振興組合連合会
会長

竹脇 元治

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

今年は「いきいき茨城ゆめ国体」が本県で開催され、多くの方々が来県されますが、我々商業者は、これらのお客様に本県の素晴らしさや地域の文化などを伝えるため、創意工夫を凝らした取り組み通じて国体の成功に貢献したいと考えております。

本年も「地域に頼られる商店街」「人と人を繋ぐ商店街」の実現を目指してまいる所存でありますので、関係各位の一層のご指導ご鞭撻のほどを宜しくお願い申し上げますとともに、皆さまにとって更なる飛躍の年となることを祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



茨城県木材協同組合連合会
会長

生井 邦彦

新年あけましておめでとうございます。

我が国の経済は、雇用・所得環境等の緩やかな回復基調が続いているものの米国が離脱したTPP11、日EU経済連携協定など、新たな国際貿易の枠組みが着実に進行する一方、米国の保護主義的な政策が表面化するなど海外経済を中心とした不確実性、国内における慢性的な労働力不足など、必ずしも楽観的な状況にあるとは言えません。

こうした中、木材需要の中心である住宅分野は、少子高齢化・人口減少等により今後は大きな伸びが期待できない状況にあります。木材産業の再興を図ることが一層重要となっていることから会員挙げて、住宅はもとより公共建築物、商工業施設など多様な分野における木材需要拡大の取り組みの展開、品質の確かな木材の安定供給体制の構築に一層取り組んでまいる所存であります。



茨城県中古自動車販売商工組合
理事長

堀江 知弘

新年あけましておめでとうございます。今年は、10%への消費増税が予定されており、中古自動車業界にとって一つの転機を迎える年になると考えております。ネットの普及により個人間売買が拡大しつつあり、増税による販売価格の押し上げは、個人間売買の更なる拡大と小売り不振に繋がる恐れがあります。しかしながら、この危機こそが転換期でもあり、組織メリットを最大限に活かせるチャンスでもあります。組合にしかない知識・技術を背景として“安心と信頼”を前面に打ち出した小売支援事業に取り組んでまいります。また、組合員の商売をより強固にサポートする為に、小売りに繋がる流通市場の運営と経営を支援する封印受託事業の取り組みについても引き続き注力し、組合組織の更なる拡充に努力してまいります。



茨城県自動車整備商工組合
理事長

宮崎 一雄

新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

さて、我々整備業界においても、他業界同様、少子高齢化に伴う人材不足は大きな問題であり、女性や高齢者の活用を含めた多様な人材確保と育成は大きな課題となっております。

また、近年、自動車は「自動化」「電動化」「コネクテッド化」といった大きな変革期を迎えており、自動車産業の国際競争が激化するなかで、急速に進展する自動車技術に対応した整備力の向上、整備機器の導入は必要不可欠であり、そのための組合員支援が今後必要であると考えております。

人々の安全と安心を守り、環境と調和のとれた「くるま社会」を構築するため、組合員一丸となり業界発展に努めてまいりますので、皆さまのお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



久慈鉄工協同組合
理事長

宮本 洋治

新年を寿ぎ謹んでお慶び申し上げます。

近年有効求人倍率の増に伴い、中小企業は人材確保が難しい状況です。これは、単に生産年齢人口減少だけではなく大企業との労働条件格差、つまり賃金や諸処遇が要因と考えられます。

昨年を振り返ると、当組合傘下の各企業は比較的安定した経営状態を維持出来ました。しかし現状維持だけでは近い将来に不安な課題も残されます。

昨今話題のAIやIoTは、最早社会インフラとなりつつあります。

私は、中小企業だからこそ、他社に先駆けこれらに積極的に取り組む姿勢が大切だと考えています。

幸い我が組合は60年に及び信用力とこれを支える技術力を有しています。明るい未来を念じ、組合員一丸で邁進したいと思いをします。



茨城県菓子工業組合
理事長

面澤 義昌

新年あけましておめでとうございます。

皆様にとりましてさらなる飛躍の年となりますことをご祈念申し上げます。

さて、わが国は少子高齢化・人口減少時代を迎え、我々中小企業経営者には経営手法や発想の転換が求められているかと存じます。また、製菓業界は競争激化や消費者の嗜好の変化、食品表示法や食品衛生法の改正への対応など課題が山積しているところです。

本年は「いきいき茨城ゆめ国体」、来年は「東京オリンピック・パラリンピック」が控え、国内外の多くの方に本県の魅力を再発見・再認識していただける機会として期待が高まります。業界を挙げて、地域の豊かな資源を付加価値に結び付け、本県の魅力向上に貢献してまいります。

今年一年も関係各位のご支援・組合員の積極的な参加のもと、団結と努力により組合活動が進展することを心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



茨城県共同店舗運営協議会
会長

森 永 俊 幸

新春のお慶びを申し上げます。

皆さまおすこやかに新春をお迎えのことと存じます。

旧年中はひとかたならぬご愛顧にあずかり、誠にありがとうございました。

地域のショッピングセンターは地域生活のインフラとして大きな役割と責任を担っています。一方で、地域社会や地域生活者に対して様々な影響を与える存在であり、また地域生活者の支持なくしては成立し得ない存在でもあります。

本年も心を新たに皆さまに愛され、喜ばれ、ご満足いただける楽しい「お買い物広場」としての店づくりを目指し、一層の商品とサービスの提供を心がけてまいります。

本年も変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのますますのご健勝とご発展を祈念いたします。



茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合
理事長

吉岡 昭文

平成年号も最終の年明けとなりました。昨今の時の流れは、価値観の多様化が複雑にて難しく、将来を見極めることにも苦慮する時代を過ごしております。

旅館業界では、民泊問題等々身近な問題がありますが、今年6月に茨城県が初めての全国大会を水戸市に於て誘致開催する事になり、その準備に丸となって進めているところです。秋には国民体育大会が全県下で約50年振りに開催されます。県民一人一人が一致団結し、是非とも成功に導かなくてはなりません。

ご存知の通り、我が県は「おもてなし」6年連続最下位という汚名を受けております。真面目で、お世辞の出来ない県民性は表現力に遠慮深くおもてなしに損をする性格です。是非とも、このような機会に名誉挽回に努力いたしたいと思います。明るい一年を目指しましょう。



茨城県鐵構工業協同組合
理事長

安達 次雄

新年明けましておめでとうございます。

昨年度末に、深刻な労働者不足の解消を目的に外国人材受け入れを拡大する法改正が審議されましたが、深刻なのは非正規雇用や人口の減少に歯止めがかからないことであろうかと思えます。弊社組合員も中小建設専門業種で人材不足は大きな課題であります。目線を先におけば、若い世代が安心して家庭を持ち、子供も育てられる社会こそが本来望まれますと認識いたします。欧米諸国の移民問題をみれば、ことを急ぐ必然は無いと思います。

本年も、組合員一同心を合わせて、品質や付加価値を高める物造りに励み、雇用環境改善及び人材確保育成を図るべく、事業を推進してまいり所存でありますので、旧に倍してご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆さまのご多幸を祈念し年頭の挨拶といたします。



茨城県火災共済協同組合
理事長

外山 崇行

平成31年新春に想う

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は5つの台風が上陸するなど自然災害が多発しました。なかでも10月に上陸した台風24号は茨城県にも多くの被害をもたらしましたが、当組合では被害に遭われた組合員の皆さまのお力になれるよう、迅速に共済金をお届けいたしました。

近年、自然災害の増加に伴う被害が増えておりますが、中小企業の皆さまが安心して事業活動ができるよう「火災共済」や「休業対応応援共済」をはじめとする共済制度を役職員一丸となって普及推進してまいり所存ですので、皆さま方には変わらぬご指導ご支援をお願い申し上げます。

本年は、平成最後の年、損保各社が火災保険料の値上げを予定している年でもありますので、今一度当組合の共済制度をご検討くださるようお願い申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



茨城県コンクリート製品協同組合
理事長

中川 喜久治

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年は企業の収益増や所得環境の改善が続いた一年と言われておりますが、消費の低迷、人手不足、原材料や燃料の高騰などによる不安要素は拭えないところでありました。労働人口の減少も問題となってきており、特に建設産業は若年層の従事者が顕著に減っています。近年大規模な自然災害も頻発しており、当組合におきましては防災・減災に必要な不可欠なインフラ整備を支え、製品の開発、人材の育成、適正価格での販売に努め、安全で安心して暮らすことのできる豊かな国土づくりの一翼を担うべく、組合員一丸となって取り組んでまいり所存でございます。本年も更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。



茨城県交通安全施設業協同組合
理事長

宇都宮 浩

新年あけましておめでとうございます。

皆さまには、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は、県内各地を会場として国民体育大会・全国障害者スポーツ大会が開催されます。全国各地から多くの皆さまが来県されることとなりますが、会場等へのアクセス道路にも、わかりやすい道路標識・きれいな道路標示など「おもてなし」が求められるのではないかと感じております。

当組合では、茨城県、県内市町村、茨城県警察本部のご指導のもと、道路標識・標示、ガードレール・防護柵の整備・更新・修繕等を通じて施設の充実に取り組んでおります。

本年も、引き続き技術力向上を図る技術研修会、道路標識等の清掃ボランティアなど、活動してまいりますのでご支援ご協力をお願い申し上げます。



茨城県結城郡織物協同組合
理事長

小林 茂博

新年、明けましておめでとうございます。

皆さまには輝かしい新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

当組合におきましては、着物・帯等の和装分野の生産と共に、洋装・インテリア等への生産が増えております。

来年に迫った2020年東京オリンピックに向け、年々、増え続けている外国人観光客にもアピールできるような商品作りにも目を向けて行きたいと考えております。

本年も皆さま方のご指導とご協力をお願い申し上げますと共に益々のご活躍をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



茨城県自動車電装品整備商工組合
理事長

永井 靖彦

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

近年、自動車産業を取りまく環境は、大きく変化し、国内自動車整備業界に大きな変革の波が押し寄せてまいりました。今や自動運転車の開発に目を向けて、自動車メーカー、IT企業、総合部品メーカーなどの企業連携が世界的な規模で起こってきました。クルマと人工知能

(AI)の融合が進み、自動車産業の大きなパラダイムシフトが起こり、「クルマのスマホ化・ロボット化」が現実の問題となりつつあります。我々電装品業界のビジネスの広がり、常に新しい情報を得て、先進自動車(ASV)に対して、正しい整備ができるよう将来に備えて行く所存であります。国土交通省をはじめ、関係各位のご指導、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



協同組合茨城県中小企業労務協会
理事長

高杉 徹

《21世紀は中小企業の時代》

新年おめでとうございます。

世界経済は産業型文明・工業社会からポスト産業型文明・知価社会へと大きく変化しています。

新しい時代の文明社会創造のキーワードは地球環境・知価社会です。

日本の中小企業は、この大きな歴史的変化の時代の中で、産業構造転換の担い手として、広い分野で技術革新と新事業開拓にチャレンジしているのです。中小企業の革新性こそが新しい環境・知価社会を創造できるのです。

私共協同組合は、異業種の中小企業協同組合として、異業種交流を図り、中小企業経営者の革新性を支援して行きたいと思っております。そして同時に、中小企業の活力の担い手である労働者の人間力向上のため安定雇用・社会保障拡充・教育研修に力をいれていきます。



いばらき資源リサイクル組合連絡協議会
会長

根本 経 政

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

当協議会は、鉄、非鉄、古紙、古繊維などを再生資源としてリサイクルするために共同回収、共同販売等を行う8協同組合を会員として活動しております。

当業界は、人口減少や企業業績の伸び悩みなどが要因で、年々、再生資源物の発生量は減少傾向にあり過当競争が激化しております。

地域で発生した資源物は、地域の専門業者が取扱い、再資源化を図る「地域内資源循環型社会」の実現に向けて会員間の連携・協調をさらに強化してまいりたい所存です。

本年もご指導ご支援を賜りますようお願いいたしますとともに、皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。



茨城県古紙加工処理事業協同組合
理事長

榊 原 勝 男

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

茨城県古紙加工処理事業協同組合の理事長を拝命いたし、身の引き締まる思いで御座います。

組合員の皆さまが安心して事業の進展を図れるよう一致団結して和をもって情報の収集に努め慎重意見交換をし、行政及び各省庁に働きかけを行いたく存じます。

また、組合事業の次世代を担う若者達に積極的な参加をして頂き、スムーズな世代交代が行えるよう運営をしていきたいと思っております。



茨城県本場結城紬織物協同組合
理事長

外 山 正 美

本場結城紬の生産反数が、毎年減反して歯止めがかからず、1,000反を下回るのも時間の問題となっています。産地の維持形成が心配されています。今こそが、対策を考えるべき正念場と捉えています。結城紬の良さの原点は繭を広げて手紬して糸にすることで、軽くて暖かで丈夫な着物が出来上がるのですが、現在、糸つむぎ者の高齢化により、この原料が不足して減反に繋がっていると考えられます。そこで、産地全体で糸つむぎ者養成プランを始動させ、説明会・講習会を産地各所（小山、下野、結城、筑西、下妻、八千代）で開催し、手つむぎ糸を生産しています。このプランを継続させて原料を確保することで、生産者は安心して物造りに専念でき、生産反数を増やすことも可能になると信じています。今後は、紬業界一丸となり産地が活気づくよう頑張りたいと思っています。



茨城県福祉介護事業協同組合
理事長

村 上 義 孝

新年明けましておめでとうございます。

当組合は昨年、茨城県社会福祉協議会からもご協力を頂き、夏休み期間中に第4回福祉体験キャンプを水戸・古河・つくばで開催した他、茨城労働局から中小企業団体向けの人材確保等支援助成金と時間外労働等改善助成金の採択を受け、人材確保・職場定着支援・労働環境改善のための各種事業を実施してきました。外国人技能実習生受入の監理団体としての許可も頂き、今年春には、いよいよインドネシアからの実習生が来日する予定となっています。

本年も役職員一同、民間事業者による介護サービスの向上と会員各社の業績発展のために各種事業に全力で取り組んでまいりますので、引き続き皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



「道の駅」茨城県ブロック連絡会
会長

堀 江 克 己

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

当連絡会は、これまで県内道の駅の実務者による会議を重ね、駅限定販売の共通商品や合同イベント等の企画を行い、駅同士の連携による事業を推進してまいりました。昨年は、初の試みとなる「いばらき道の駅めしスタンプラリー」を実施するなど各駅の魅力向上に努めました。

本年は、本県において「いきいき茨城ゆめ国体2019」の開催が予定されており、県外からお越しの方々へ絶好のアピールの機会であると捉え、新たなファンの獲得を目指しているところであります。

これからもたくさんの方々に愛され、支持されるよう努め、地域の皆さまをはじめ県内外に対して、喜びと感動を提供してまいりますので、引き続き変わらぬご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



いばらきワイン産業連絡協議会
会長

西 村 勝 夫

明けましておめでとうございます。

当協議会は、県内ワイン産業の振興発展のため、県内のワイン用ぶどう生産者、ワイン醸造・販売に携わる事業者が一致団結して発足しました。

昨年は、降雨や台風の通過が多く、ワイン用ぶどうの品質に影響が心配された1年となりました。そのような中、県のご支援を賜りながらワイン用ぶどうの栽培技術向上を図る研修会等を実施し、そこでの指南を実践したことで無事にぶどうの収穫と新酒のリリースを迎えることができました。この場をお借りしまして、県をはじめ関係者・団体の皆さまのお力添えに感謝申し上げます。

本年も会員や関係機関と連携を図りながら、多くの方により味わい深い県産ワインをお楽しみいただけるよう技術研鑽に励んでまいります所存です。

皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げます。



茨城県食品産業協議会
会長

面 澤 義 昌

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、当協議会事業の実施にあたり、皆さまからご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

さて、食品製造業界は人口減少による需要の低下や労働賃金の上昇から価格転嫁に悩む企業も多く、依然として厳しい経営環境下にあります。また、本年10月の消費税引上げや新HACCP制度、新しい食品表示法への対応など多くの課題を抱えております。

こうした中、本年も当協議会は食品情報の提供、会員PR、食品業界に共通する課題の解決に向けて各種の研修会を開催し、県内食品産業界の振興発展に取り組んでまいります。

引き続き、関係各位におかれましては、変わらぬご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



茨城県中小企業青年中央会
会長

吉 澤 慎 一

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は当青年中央会事業の実施にあたり、皆さまからご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私ども組合青年部の集合体である青年中央会は、親組合の理解のもとに結果を恐れず、自由な試みや新しいことにチャレンジし、自己研鑽に努めております。

さて、本年5月には『平成』から新元号へと変わり、新たな時代を迎えることとなります。当青年中央会といたしましても、新たな発想による思い切った事業を展開し、次世代を担う人材の育成に努めるとともに、中小企業の振興発展に努めてまいりたいと思っております。

関係各位におかれましては、本年も変わらぬご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



茨城県中小企業レディース中央会
会長

溝口恵子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃よりレディース中央会の活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。皆さまのお陰で無事に新しい年を迎えることができました。

近年、急速に進む少子高齢化を前に、企業は女性やシニア等、多様な人材を活用することが求められております。レディース中央会として、会員の皆さまと手を取り合い、女性活躍に向けて積極的に活動して行きたいと考えておりますので、関係団体の皆さまの温かいご支援、ご指導を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

本年の干支は亥でございます。猪の肉は万病を予防すると言われ、無病息災の象徴とされております。皆さまの益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



茨城県中小企業団体職員互助会
会長

小津洋子

新年あけましておめでとうございます。

当職員互助会は、中央会会員組合の専従役職員で構成されております。会員の皆さまの福利の増進と資質の向上、会員同士の交流の場の提供を図るために昭和41年に設立されました。

事業内容は、慶弔見舞金の給付事業のほか、県内外への視察研修、講習会を開催し、会員間の親睦・交流を深めるとともに、組合間のネットワーク構築の機会を提供しております。

今後、さらに会員増強に努め、組織力を強化することで県内組合事務局の機能強化を図ってまいり所存でございます。なお、事務局役職員の皆さまが当互助会に未加入の組合におかれましては、是非ともご加入をご検討いただきますようよろしくお願いいたします。

本年も皆さま方の益々のご発展とご健勝をご祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

